



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区
いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 越田和俣充
幹事 小澤 啓一
SAA 鈴木 雅之
会報小委員長 遠藤 洵

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務局 TEL/FAX (0246) 56 - 3473
○例会場 ホテルミドリ E-mail:info@iwakinakoso-rc.jp

第 2834 回 例会 令和 2 年 10 月 21 日 (水・晴)

2020 - 21 年国際ロータリーのテーマ
ロータリーは機会の扉を開く

ゲスト

米山学友会 朴 相俊 (パク・サンジュン) 様
(元米山奨学生)

ロータリーソング 我等の生業

ー今月は経済と地域社会の
発展・米山月間ですー
4 つのテスト、例会出席心得
柏原 達之 会員



◎会長報告ー越田和俣充会長

皆さん、こんにちは。始めに当クラブの名誉会員でありました松崎廣近会員がお亡くなりになりました。私個人としても 40 数年前にハンバーグ店を開業以来私の主治医として健康を見ていただいた先生です。非常に残念に思っております。松崎先生のご冥福をお祈り申し上げます。それと話は変わりますが、先週の移動例会で IGCC さんを見学させていただきました。そこで世界一の省エネ発電装置や技術を見学させていただき、感激して帰って参りました。IGCC さん誠にありがとうございました。最後に本日卓話をして下さるゲストをご紹介します。元米山奨学生の朴相俊 (パク・サンジュン) 君が帰って参りました。朴君お帰りなさい。後程卓話をしっかり聞かせていただきますので宜しくお願いします。

◎幹事報告ー小澤啓一幹事

- ・いわき平東ロータリークラブ、いわき平ロータリークラブより週報が届いております。
- ・国際ロータリークラブからコロナ感染症対策ということで多人数の会議や会合はオンラインかハイブリットで開催し感染リスクを避けるよう十分注意を払って対応して欲しいと文書が届いています。
- ・ロータリーリーダーシップ研修会パート II の参加のお願いが来ていますので回覧致します。

◎各委員会報告

◇出席委員会ー高萩勝利小委員長

本日の出席状況は下記の通りです。なお、今年度の平均出席率は 76.76 パーセントと下って参りましたので出席率向上に皆様のご協力をお願いします。

◇スマイルボックス委員会ー佐藤政司小委員長

・元米山奨学生朴相俊君を歓迎して。越田和会長、星副会長、小澤幹事、林副幹事、富澤、佐藤 (政)、洪佐、清水、木幡、鈴木、高萩、渡邊公平パストガバナー、鈴木 (敏)、相原、鈴木 (雅)、鈴木 (修) 各会員

- ・本日早退ごめんなさい。大平、赤津 (善) 各会員
- ・前回休んでごめんなさい。木幡、吉野、柏原各会員

◎ゲスト卓話者紹介ー鈴木修一郎会員



本日卓話をして下さるのは元米山奨学生の朴相俊 (パク・サンジュン) さんです。朴さんは 2018 年 4 月から当クラブの奨学生となりました。2020 年 3 月に大学を卒業し就職致しました。事あるたびに彼の母国の韓国における生活やボランティア活動の話等をいろいろお聞かせいただきました。今は社会人になり、バックス情報システムに入社されました。今日は宜しくお願い致します。

◎ゲスト卓話ー朴 相俊 (パク・サンジュン) 様 米山奨学生から米山学友会へ



皆様、こんにちは。米山学友会の朴相俊と申します。本日皆様と出会うために茨城から来ました。皆様もご存知の通り、私は韓国のソウル出身で、2018 年 4 月から今年の 3 月まで米山奨学生として、いわき勿来ロータリークラブにお世話になりました。ここでいわき勿来ロータリークラブの方々とはまた再会するこの貴重な機会をいただき、本当に嬉しく、感謝の気持ちで一杯です。本日は皆様お忙しいところ、宜しくお願いいたします。いわき勿来ロータリークラブを訪問し、実家に戻ってきた気持ちを感じています。2 年前、初めてここにきた時に本当に緊張しました。今も少し緊張していますが、今の緊張は 2 年前とは違い、家族とまた再会ができたとても嬉しい緊張感だと思います。まず、来日する前の私のストーリーを少し話したいと思います。私は韓国で国立大学を中退し、大学の授業料を稼ぐために、幹部として 4 年半兵役をしました。兵役が終わってから直ぐフィリピンで 3 年間仕事をしながら英語の勉強をしました。私は 19 歳から両親のお金をあまり貰っておりませんが、私の家の経済では留学の費用は凄く高かったので、自分で自立して成功する方法しかなかったと思います。私は 2016 年 3 月に来日して、現在日本での生活は今年で 5 年目になります。20 代の終わりの 29 歳に日本留学を決めました。それに日本は韓国と近い国であり、私が高校時代まで憧れた日本での生活や仕事をしてみたかったからです。勿論、普通に韓国で就職し、母国で生活することもできますが、私はいつもチャレンジしたい気持ちが高いので、高校時代に私が学びたかった日本語や日本での生活を実現するために、その私の夢をかなえる為に来日しました。私は、今年 3 月に福島県いわき市の東日本国際大学を卒業して、4 月に日本に就職しました。そして、現在「バックス情報システム株式会社」という IT 企業で働いています。米山奨学生のころ私のカウンセラーさんである鈴木雅之さんが社長でい

らっしゃる会社です。私は今茨城支社で働いています。カウンセラーさんとの出会いは本当に運命的な出会いだったと思います。実は、私は東京や首都圏で働きたい気持ちも多かったのですが、福島の企業で働くのは外国人として難しい決定でした。しかし、今の会社の社長でいらっしゃる私のカウンセラーさんの一言で考えが変わりました。2 年前、私と一緒に韓国に行った時に「福島から世界に繋がる会社を作りたい」といいました。福島は私にとって第 2 の故郷であります。大学の 4 年間福島で生活をして、その中で様々な出会いがありました。私はいつも福島が私にくれた貴重な時間を忘れず、私は福島の企業で働きたい気持ちを持ちました。そして、現在の会社で働くことができました。今は福島の隣の茨城に住んでいますが、心はいつも福島にあります。大学 3 年生から 2 年間米山ロータリーで活動して、大事なことを学びました。それは配慮と奉仕の精神です。ロータリアンの方々からいただいた愛情を次は私が私の後輩にあげる時だと思います。奨学金で私はもっと私の知識を広げる為に使いました。色々な国に行つて、ただの旅行よりは、海外ボランティアや海外研修が多かったです。その為、視野が広がりました。人間は計画を沢山作りますが、実際に実践するのは難しく感じる人々が多いです。私もそうですが、今の厳しい時代を生きている私たちですが、皆さんともっと力を合わせて、このコロナウイルスに負けまいようにしたいと思います。私は、まだ 30 代でやりたい事が沢山あります。昔の私は海外の生活は考えられなかったですが、自分の人生は、自分にしか変えることは出来無いと思いました。私は日本に来てロータリアンの方々との出会いがなかったら今の私もなかったと思います。人生の勉強は終わりが無いと両親から聞きました。私はこれからもずっと皆様と交流していつか私の夢である韓国と日本が仲良くなる日まで頑張つて仕事をして色々な活動してみたいと思います。短い時間でしたが、ご清聴ありがとうございました。



出席状況	正会員数	47 名	カード出席	2 名
	本日出席会員数	29 名	本日の修正出席率	67.39%